

令和5年2月27日(月)

14:30～15:32

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 3名

学校職員 8名

○日程 14:20 受付 14:30:評議員会(～16:00)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

日頃より本校の教育活動に対し、御支援・御協力・御指導いただき心より感謝申し上げます。コロナ感染症が落ち着き、全校生徒がより良い学校生活を送っている。3年生は、ほとんどの生徒が進路を確定させ、明後日卒業式を迎える。高校入試では、本校の倍率が1倍を超えた。生徒一人ひとりに寄り添った白梅校らしい教育活動を展開し、本校の魅力を発信していきたい。来年度からは学校運営協議会を立ち上げ、学校と地域の連携・協同による学校運営の充実が図られるものとする。本日は忌憚のない意見をいただきたい。

(3) 令和4年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

1 現状把握及び将来展望

(3) 学校に影響を与える変化

○新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた教育活動

卒業する3年生は、3年間コロナ感染症のために様々なことが制約されて、できないことが多かった。

○新学習指導要領と大学入試改革への対応

新1年生からは、新学習指導要領に基づいた教育課程となり、共通テスト対応としてICTを活用した授業や改善を行っている。

○少子化の影響による生徒数の確保及び生徒の多様化と学力差の拡大

盛岡地区以外の多くは1倍を超えていない。入学したい生徒を増やしていきたい。

3 目指す学校像について

(1) 今年度の重点目標

5つの目標を掲げている。達成指標を4つの項目で超えたが、「二高に入学してよかった」と答えた生徒の割合が、目標80%以上に対して結果が74%と下回った。この結果をしっかりとふまえて改善していきたい。

イ 学校評価アンケート結果について（副校長）

- ・ 1139 名配布 933 名回収。回収率 82%
- ・ 11 月 28 日～12 月 6 日実施 スマートフォンでの回答

【分析 1】 全体的な傾向について

最も肯定的な評価が低い項目は項目「4 家庭学習・課題の点検」（保護者 67%）である。生徒・教員に共通して評価が低い項目は「5 応用力のつく授業の実践」（生徒 74% 教員 74%）であるが、生徒評価は昨年度よりも 9 ポイント増加し改善傾向にある。

【分析 2】 評価が高かった項目、評価が改善した項目について

「7 生徒会活動や部活動の活発さ」（生徒 94%保護者 88%教員 97%）今年度も三者から高い評価を得た。

【分析 3】 評価が低かった項目、評価が分かれた項目について

「14 二高に入学してよかった」（生徒 74%保護者 90%）生徒と保護者とで評価が分かれた。生徒評価は昨年度比で 7 ポイント減少した。1 年生は昨年度比で 12 ポイント減少している。ただ、学年が上がるにしたがってポイントは上昇している。

「18 P T A 活動における保護者との交流・対話」保護者評価の中でワースト 2 位の 68%である。コロナ禍による学校行事の縮小や中止により保護者が参加する場面や協力する場面がほぼ無かったことが大きな要因であり、P T A 活動の在り方を模索していく。

「13 保護者と連携した進路指導」（生徒 80%保護者 69%教員 100%）三者で評価の分かれた項目。生徒・保護者の評価が低いのは、生徒・保護者からの進学情報の提供や教員との連携強化、指導法についての希望が満たされていないことが一因であると考えられる。教員が思うほど生徒・保護者は満足していない現状を認識し、さらに丁寧な進路指導を行うことが必要である。

質疑

評議員：自由記述にはどのようなものがあったのか。

副校長：プロジェクターの字が小さいとか、光の具合で見にくい等、電子黒板についてのものがあった。

他には制服に関することや授業方法に関する意見があった。

自由記述を受け止め、改善の手がかりとしていく。

ウ 各課取り組みについて

【総務課】（総務課主任）

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する
 - ・入学式は昨年並みに実施。卒業式は保護者の出席を2名、証書は個別受領として、式歌等大もコロナ前と同様とするなど大幅に従来型に戻す予定。
 - ・学校へ行こう週間は196名の参加があった。
 - ・昨年度中止になった文化講演会は来年度実施予定。
- 2 P T A（白梅振興会）活動の活性化
 - ・制約があるなか、熱心に活動していただいている。
 - ・来年度は、餅まきや研修旅行等実施予定。
- 3 白梅同窓会との連携促進に努める
 - ・寄付額の減少対策について検討する。

【教務課】（教務課主任）

- 1 生徒の学力向上
 - ・これぐらいで良いという進路意識の低さが課題。
 - ・来年度4月は各担任と面生徒が面談する時間を設ける予定。
- 2 教員の指導力向上
 - ・I C Tの活用に取り組んだ。
 - ・電子黒板の使い方に関する意見も入ってきているので、情報共有をしていきたい。

【生徒指導課】（生徒指導課主任）

- 1 生徒規律の確立
 - ・特別指導等は他校に比べ少ない。
 - ・夏季軽装に関してポロシャツを検討している。
 - ・スマホ使用規定の見直し。授業等でも利用する機会があるので、モラルやマナーを教えていきたい。
- 2 生徒会活動・部活動
 - ・部活動任意加入実施・未登録者28名であるが、学校外で活動している生徒が多い。
 - ・転部者21名と部活動変更する生徒が増えている。
 - ・応援歌指導が実質できなかった。応援団が2年生1名、1年生4名と存続の危機は免れた。
- 3 安全指導
 - ・自転車事故は少ないが、重大事故が発生した。また、小、中学生との事故で加害者になったケースもあった。
 - ・近隣コンビニでの送迎も問題になっている。

【進路指導課】（進路指導課主任）

1 進路意識の涵養

- ・総合研究等で小論文講演会、大学模擬授業の実施。
- ・1学年大学訪問（岩手大学・岩手県立大学・盛岡大学）、来年度も実施予定。

2 総合型・学校推薦型選抜指導の充実

- ・総合型・学校推薦型選抜出願の実生徒は161名。
- ・指導開始時期や役割分担の工夫。もう少し早くてもよいのではという意見あり。

3 一般選抜指導の充実

- ・12月終業式まで全員受講。以後は共通テスト受験者が受講。
- ・大学入学共通テストは受験申込100名、実受験は99名。1名医療系受験のため。
- ・国公立大学一般選抜への出願は実10名。後期まで受験する。

4 進路情報の提供・発信

- ・PTA進路学習会はコロナ禍を考慮して開催。次年度の進路学習会は土曜日で調整。
- ・「進路の手引」及び進路シラバスの発行。
- ・進路情報提供で、本人と保護者が納得する進路選択へとつなげたい。

保健厚生課、教育相談課、図書課、情報・研究課については資料のみ。

質疑

評議員：効果的な人材育成についてお伺いしたい。

副校長：人材育成については、各課で行事、学業、部活動、進路指導等を通して実施しているものであり、これらについての説明をしたい。

教務課：今年度の1年生はスタディサプリを活用し個々の進路に合わせて弱点克服を行っている。

生徒課：部活動は4年前から部活動任意加入にしている。部活動に参加していない生徒は応援団や、視聴覚委員の活動をしている。また、校外でのダンスの大会や音楽のコンクールに出場する等活動を行っている生徒もいる。

進路課：私立高校等は特色を持っているが、私立高校との比較は難しいと思われる。部活動等を進学で利用したり、地域でのボランティアなどを総合型の受験等で利用したりしている生徒もいる。

総合的な探求の時間で課題を見つけて、地域と連携していくようにさせたい。また、資格を持ちたい生徒、持たせたい保護者がおり、看護等の希望が多い。

評議員：夢を子どもたちに持たせて素晴らしい学校を目指してほしい。

評議員：同窓生等にも素晴らしい方がいるので、そういった方を利用してよいのでは。

同窓生も期待している部分があるので、新聞等で見ると、嬉しく感じる。

二高に入学してよかったと思える生徒が増えてくれると嬉しい。

総務課：入学式や卒業式を通してできるだけ達成感、心に残る式にしたい。

文化講演会を来年は実施予定なので、有意義な講演会になるよう人選したい。

(4) その他

ア コミュニティ・スクールの導入について

・学校運営協議会制度と言い、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図る。

・盛岡二高では、令和5年度から実施。

・構成員として、12名を委嘱予定。

・学校評議員会よりも規模が大きくなり地域の人の意見を取り入れやすくなる。

評議員：こういった会議では長く話すことができないので、事前にアンケート等があれば話しやすいのではないかと。

評議員：教員や生徒の父母、同窓生等活躍している人を発掘していくとよいのではないかと。

イ その他

(5) 閉会の言葉（副校長）